

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	249	社会福祉一般事務	会計	01	一般会計
基本施策	3	高齢者などを地域や集落で支える環境をつくる	款	03	民生費
			項	01	社会福祉費
			目	01	社会福祉総務費
担当部課名	厚生保護課		細目	101	社会福祉一般事務経費
作成者氏名	今高 光芳	連絡先	22-2610	細々目	01
					社会福祉一般事務経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)					
保護司会の活動 更正保護女性の会の活動 心配事がある市民 行旅死亡人		犯罪の予防と犯罪者の自立更生の事業が展開され、社会が明るくなります 心配事のない安心した生活が出来る					
本年度事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護司会活動を支援します</li> <li>更正保護女性の会の活動に補助金を交付し、活動を支援する</li> <li>心配事相談業務を民生委員に委託して実施します</li> <li>行旅死亡人があった場合、その葬儀を実施します</li> </ul>						
開始年度	平成	年度	終了年度	平成	年度	根拠法令・要綱等	保護司法・行旅病人及び行旅死亡人取扱法

投入資源

投入人員	正規職員 (人)	H17	H18(予算)	H19(予算)
		0.5	0.5	0.5
支出内訳(千円)	人件費合計(A)	3,600	3,600	3,600
	事業費(B)	4,082	2,711	2,711
	委託料	1,942	1,820	1,820
	その他	2,140	891	891
合計(A+B)		7,682	6,311	6,311
財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金		235	235
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財			
	一般財源	7,682	6,076	6,076
上記 ~ に関する特記事項				
行旅死亡人は該当があれば、県支出金から支出を受けることとなる。				

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
保護司の研修会への参加率	%	75	80	80			
社会を明るくする運動の啓発活動	回	1	1	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
保護司の研修会への参加率	研修会の有効な活用をはかる。	%	75 目標 ( )	80	80
市民への啓発活動	社会を明るくする運動強化月間に啓発を展開する 啓発用のぼり掲示・車で巡回して広報する(年度により変更あり)	回	1 目標 ( )	1	1

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

伊賀保護司会は合併前と変わらない組織である。(三重県で区域の設定がされていて、合併による区域の変更がなかった)

保護司会が自主的に事業を展開している。

更正保護女性の会は、保護司会と連携し、犯罪非行の防止に努め、防犯パトロールや地域の清掃活動を実施している。

評価	必要性	4	法務省から委嘱を受けた保護司の活動であり、今後も継続と思われる。 犯罪の防止や犯罪者の自立更生を支援する役割は、極めて大きい。 更正保護女性の会は、小中学生の登校下校の安全にも協力している。	総合評価
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		
				A